

図書館だより

11月号

令和7年11月10日
港区立港南中学校
校長 江口 昌之
学校司書 平賀 玲奈
図書館支援員 井田 治子
蔡 美京

朝夕冷え込む季節になりました。心が温くなる本を探しに、ぜひ図書館に足を運んで下さいね。

11/12(水)～11/14(金)は蔵書点検のため、閉館します。

秋の読書キャンペーン

11/17(月)～11/28(金)



期間中6冊以上貸出した生徒に
手作りしおりのプレゼント。
新しい本がたくさん入った図書館へ
ぜひ本を借りに来てください。

方言を比べてみよう！

簡単

地域ごとの「簡単」の言い方の違いを見
てみましょう。

「みやすい」 島根県、広島県、山口県 他
「じょさね」 山形県、秋田県、宮城県 他
「ちゃらしい」 福井県



参考 HP 『ことばのまど』 「共通語な方言」 (小学館) <https://kotobanomado.jp/column/6682/>

十一月のおすすめ本

『大阪偕星学園キムチ部』

長谷川晶一著/KADOKAWA (628 ハ)

副題は「素人高校生が漬物で全国制覇した成長の記録」。大阪の高校で、学校公認の部活動としては全国でただ一つの“キムチ部”が発足し漬物グランプリに輝くまでの実話です。その背景には、中学時代は不登校気味だった部長の「自分を変えたい」という高校生活への思い、めっちゃ面白そう！と集まった部員たちの本気はもちろん、学校や地域の熱いバックアップがありました。

『チェクポ』おばあちゃんがくれたたいせつなつつみ

イ・チュニ著/福音館書店 (929 イ/E)



ランドセルが高かった昔、おばあちゃんが作ってくれたふろしきに教科書とお弁当をつつんで、遠い学校まで歩いて通う、田舎の小学生の女の子の物語です。ふろしきに包まれた大切な思いが、私たちの心を暖めてくれる絵本です。

大学図書館で働く司書の日常

『麦本三歩の好きなもの』住野よる/著(幻冬舎)913/ス
ちよっと天然で、ときには失敗もしてしまう大学図書館
司書、三歩の迷いと気づきの物語。

甲子園球場でのグラウンド整備「グラウンドキーパー」のお仕事

『あめつちのうた』浅倉宏景/著(講談社)B913/ア

甲子園出場校の男子マネージャーだった雨宮。甲子園球場のグラウンドキーパーとして花々しい世界を陰で支えて見えてきた風景とは…。

ダンスも科学も大好き、だからこんな職業を作りました

『わたし、サイエンスエンターテイナーになる！』

五十嵐美樹/著(WAVE 出版)407/イ

ダンサー志望の少女が中2で理科実験に目覚め、リケジョの道をまっしぐら。でもダンスも続けたい。そこで自ら作り出したのが、ダンス×科学のお仕事！

